

発電所名	志賀原子力発電所1号機	日時	平成18年11月4日11時00分(原子炉停止決定)
件名	発電機コレクタリング冷却ファン点検に伴う原子炉手動停止について		
事象発生箇所	設備名	電気設備	
	系統名	発電機・励磁機系	
	装置名	主タービン発電機装置	
	標準装置名	主タービン発電機	
	機器名	主発電機・励磁機	
	部品名	ファン・ブロワ 発電機・励磁機	
発生前の電気出力	549万kW	発見時のプラント状況	定格出力運転中
放射能の影響	無し		
発見方法	運転監視	発電停止時間	424時間7分
原因分類	故意・過失、作業者の過失		
国への法令報告根拠	—	国際原子力事象評価尺度(INES)	—
事象発生状況	<p>志賀原子力発電所1号機は、定格熱出力一定運転中、11月2日、発電機の定期点検を行うため、発電機付属装置室に入り、点検を行っていたところ、手持ちの記録用紙3枚(A4サイズ)が誤って付属装置の冷却ファン内へ吸い込まれる事象が発生した。</p> <p>その後、記録用紙約1.5枚については回収されたが、残りの約1.5枚については、冷却ファン内に取り残されたままになっていることから、北陸電力では、発電機の運転状況の監視を行ってきたが、同月4日、付属装置の一部で通常より若干大きい振動が確認されたため、同月7日に原子炉を手動停止し、発電機の点検を行うこととした。</p>		
原因調査の概要	<p>原子炉を停止し、発電機コレクタリング冷却ファンを分解点検し、巻き込まれた記録用紙をすべて取り除くとともに、記録用紙が巻き込まれた以外に冷却ファンやブラシ保持リング等の設備自体に異常のないことを確認した。</p>		
事象の原因	<p>振動の原因は、作業員が持ち込んだ記録用紙が誤って発電機ブラシ部から発電機コレクタリング冷却ファンに吸い込まれたことによるものである。</p>		
再発防止対策	<p>紙など飛散する可能性のあるものすべてについて、発電機コレクタリングハウジングへの持ち込みを禁止するとともに、作業ルールの周知徹底を図る。</p>		

発電機コレクタリング冷却ファン点検結果

